

社会

第5学年

育成を目指す資質・能力

【論理的思考力】【主体性】

単元名

## さまざまな土地のくらし ～ALT の質問に答えます～

### 【単元の概要】

単元の導入では、ALT からの質問に答えられないことを自覚し、調べて伝えたいという思いを抱きます。まずは地形に特色のある地域について問題の解決方法を考え、調べ考えまとめます。次に、地形に特色のある地域での学習の仕方を生かして、気候に特色のある地域について調べ考えまとめます。単元の最後には、ALT の質問に答えます。

学習指導要領における領域・内容

2 内容 (1) イ

他教科等との関連

国語、総合的な学習の時間

### ◆単元の目標

- ・ 国土の自然環境に適応しながら生活している人々の様子に関心をもち、意欲的に調べることができる。
- ・ 国土の自然環境に適応しながら生活している人々の様子について調べたことを基に、人々が国土の環境に適応しながら生活や産業を営んでいることを考え、調べたことや考えたことを適切に表現することができる。
- ・ 自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を、各種の基礎的資料を活用して具体的に調べ、調べたことや考えたことをノートにまとめることができる。
- ・ 自然条件から見て特色ある地域の人々の生活の様子を理解することができる。

### ◆単元の展開 (全 14 時間)

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p style="text-align: center;"><b>課題の設定 (2)</b></p> <p>ALT からの質問を受け、質問内容を確認し、知っていることなどを交流し合う。</p> <p>ALT からの手紙「私は、日本について勉強しています。5年生も日本全体のことを勉強していると聞きました。2つ教えてほしいことがあります。1つ目は、日本は災害の多い国で、川の氾濫などがあるのに、川より低い土地に暮らしている人がいると聞きました。どんな暮らしをしているのか知りたいです。2つ目は、長期休暇を利用して、2週間程度旅行したいと思っています。興味があるのは、沖縄県か北海道です。ぜひ、民泊や農業体験、観光地めぐりをしたいのですが、どんな暮らしをしているのか教えてください。」</p> <p>地図帳や教科書から、低い土地を探す。</p>	<p>○ALT から質問されてうれしいな。 ○ALT は日本のことを知りたがっているから、きちんと調べて説明しないとイケないな。 ○質問は2つあったよ。 ○川より低い土地ってどこにあるのだろう。 ○川より低い土地で暮らすためには、何か災害を防ぐ工夫があるんだろうか。 ○沖縄県に家族旅行で行ったときは、首里城に行ったよ。 ○北海道と言えば、スキーや雪まつりが有名なんじゃないかな。 ○どんな暮らしをしているかと質問されても、2つともすぐには答えられないな。</p> <p>ALT の質問から、低地のくらしとあたたかい地域、寒い地域のくらしについて興味をもつ。 しかし、すぐには答えられないという経験から、きちんと調べて理解して伝えなければいけないという思いをもつ。</p> <p>○教科書に、岐阜県海津市が紹介されているね。 ○地図帳で等高線を見てみよう。本当に川よりも低いんだ。</p> <p>1つ目の質問には、岐阜県海津市を調べていけばよいという見通しをもっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (事前の取組) 第4学年で学習した都道府県の学習を思い出させる。日本の地理に関わる本を学級図書として教室に置いておく。</li> <li>■ (事前の取組) 前単元の学習内容である「日本の国土は南北に長く、地形にも違いがあるため、様々な気候の様子が見られること」、「梅雨や台風などにより、川の氾濫や土砂崩れなどの自然災害を引き起こすことがあること」などを掲示しておく。</li> <li>■ 教科書や地図帳を活用し、等高線の見方を確認する。</li> <li>■ ICT を活用し、岐阜県海津市の写真を提示する。</li> <li>■ 前単元の学習とつなげて、地形に特色のある地域の1つであることを説明する。</li> </ul>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>地図帳や教科書にある、沖縄県と北海道の雨温図を読み取る。</p> <p>「ALTに説明する。」という大単元の課題を設定する。</p>	<p>○沖縄県には台風がよく来るんだ。知らなかった。</p> <p>○北海道は降雪量がすごく多いね。</p> <p>○沖縄県か北海道かどちらか調べたい方を調べて交流し合ったらどうかな。</p> <p>2つ目の質問では、沖縄県か北海道のどちらかをグループごとに調べ、交流するという見通しをもっている。</p> <p>○調べたことを何で伝えるようにするといいかな。写真やイラストを使って、パンフレットのようにまとめたらいいかも。</p>	<p>■ICT を活用し、沖縄県や北海道の写真を提示する。</p> <p>■前単元の学習とつなげて、気候に特色のある地域の1つであることを説明する。</p> <p>■学習したことをALTに説明する場を設けることで相手意識・目的意識をもたせる。</p>
<p>低地でくらす人々や、あたたかい地域、寒い地域でくらす人々は、どんな暮らしをしているのだろう。～調べてまとめ、ALTに伝えよう～</p>	<p>○海津市は海拔0メートル以下の低い土地だから、水害が多そうだな。</p> <p>○沖縄県はマリンスポーツが有名だから、観光に力を入れているのかな。</p> <p>○北海道は、雪の重さに耐えられるように家のつくりを工夫していると思う。</p> <p>それぞれの地域の特色や生活の工夫について知りたいという気持ちが高まってくる。</p>	<p>■それぞれの地域の中で、知っていることを交流させることで、関心を高めさせるとともに、知らないことがたくさんあることに気付かせる。</p> <p>■「自然の様子」「農業や観光業」「くらしの工夫」など類型化し、学習に見通しをもたせる。</p>
<p>どんな暮らしをしているか予想をする。</p> <p>課題解決に向けた学習計画を立てる。</p>	<p>○まずは低地の暮らしについて、みんなで学習を進めていこう。その学習の進め方と同じように、今度はグループで沖縄県か北海道のどちらかを選んで学習をしていこう。</p> <p>○調べる地域の市役所の人に問い合わせてみるといいね。</p> <p>課題を解決するためにどのような情報をどのように得る必要があるか考えている。</p>	<p>■統計資料や写真、インターネット、自治体に問い合わせなど、情報収集の方法を多様に考えさせる。</p>
<b>課題の設定 (1)</b>		
<p>海津市について白地図を基に土地の様子を読み取る。また、昔の洪水水害の写真と水害の歴史年表を基に、意見を交流する。</p> <p>海津市のパンフレットから、海津市は自分たちのまちを自然の楽園と呼んでいることを児童が知り、小単元の学習課題を設定し、予想を立てる。</p>	<p>○川が氾濫すると昔は家の屋根ぐらいまで水が浸かっているようなところだったんだね。</p> <p>○台風とか大雨が降るたびに、海津市の人達は怖い思いをしていたんだらうね。</p> <p>水害に悩まされていたことを実感している。</p> <p>○水害が起きやすい土地なのに、なぜ海津市は「自然の楽園」と呼んでいるのだろう。</p> <p>○農業や観光業、くらしの工夫（水害への対策）の視点が関係しているのかな。</p> <p>○市役所の方に聞いてみるといいかもしれないね。</p> <p>なぜ「自然の楽園」と呼んでいるのか探りたいという気持ちが高まってくる。</p>	<p>■周りを堤防で輪のように囲まれた低地のことを「輪中」ということを押さえる。</p> <p>■複数の資料を提示することで、資料を読み取り、関連付けて考えさせ、説明させるようにする。</p> <p>■児童に既有知識との「ズレ」を感じさせるために、海津市のパンフレットに書かれている「自然の楽園」という言葉を提示する。</p> <p>■視点をもとに、グループで調べさせる計画にする。</p>
<b>情報の収集、整理・分析 (2)</b>		
<p>農業や観光業、くらしの工夫について、グループごとに調べ、収集した情報を整理・分析する。</p>	<p>○農業：海津市は水が豊富で広くて平らな土地が多く、米や野菜が作りやすいんだ。</p> <p>○観光：川を活かしたレジャー施設がたくさんあるね。</p> <p>○くらしの工夫：昔と川の流れを変える工事をし、家のつくりを工夫しているんだ。</p>	<p>【国語】依頼する文章を書く学習活動との関連 表書きの宛名や住所を正しく書くことや後付けにおける署名や宛名の位置などの基本的な形式の既習事項を想起させる。</p> <p>■事前に市役所等と連携をとっておく。</p> <p>■調べた結果を報告しながら、キーワード化しそれぞれのキーワードを関連付けながら考えさせていく。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<b>まとめ・表現、振り返り（１）</b>		
<p>小単元のまとめと振り返りをする。</p>	<p>○水害を克服し、低地で水が豊富という特色を生かして農業や観光業に取り組み、成果を上げているんだね。 ○水害で大変な暮らしをしているのかと思っていただけど、低地という地形をうまく生かしているところがすごいなと思ったよ。</p> <p>○西野川は氾濫したことはないのかな。 ○校区には、低い土地もあるよ。水害から守るためにどんな工夫があるのかな。</p> <p>総合的な学習の時間の学びへつなげようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ キーワードを示してまとめさせる。</li> <li>■ 学習前の予想と学習後のまとめを比較させ、思考の変容に気付かせる。</li> <li>■ ALT からの1つ目の質問に対して答えられるかどうかの見通しをもたせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【総合的な学習の時間】「西野川」の歴史についての学習活動との関連</b> ここでの疑問から、総合的な学習の時間「西野川」の歴史についての学習の動機付けをする。</p> </div>
<b>課題の設定、情報の収集、整理・分析（４）</b>		
<p>小単元の学習課題を設定し、予想や学習計画を立てる。</p> <p>沖縄県那覇市、北海道旭川市について、各種の基礎的資料を活用しながら、「自然の様子」、「農業や観光業」、「くらしの工夫」について情報を集め、整理・分析する。</p>	<p>○あたたかい地域、寒い地域の人々は、どんなくらしをしているのだろう。 ○低地のくらしで学習したように、その土地や気候をいかしたくらしをしているのではないかな。</p> <p>低地のくらしの学習を生かして、自分たちで学習を進めていこうという意欲をもつ。</p> <p>○あたたかい地域と寒い地域にはそれぞれの特色があるね。 ○3つの視点で調べて比較すると、違いがよく分かるね。</p> <p>2つの地域の特色を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地形に特色のある高地のくらしについて自主学習等で調べさせることを促す。</li> <li>■ 再度、ALT からの質問内容を確認させる。</li> <li>■ 前小単元の学び方を生かして自分達で学習が進められるように、3つの視点で調べさせる。</li> <li>■ あたたかい地域と寒い地域のどちらを調べるか、一人一人に決定させる。</li> <li>■ 事前に市役所等と連携をとっておく。</li> <li>■ グラフ、写真などの基礎的資料を個人に配付し、資料を基に考えられるようにする。</li> <li>■ 調べたことを、学びのあしあととして学級に掲示し、他地域と比べられるようにする。</li> <li>■ 予習や復習、授業中に調べきれなかったことや、新たな疑問についての自主学習を促す。</li> </ul>
<b>まとめ・表現、振り返り（２）</b>		
<p>小単元のまとめと振り返りをする。</p>	<p>○2つの地域は、気候が違うので農業や観光業、くらしの工夫は違うが、それぞれの気候の特色を生かしたくらしをしていることは同じだね。</p> <p>2つの地域の共通点を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2つの地域の共通点について考えさせることで、単元のねらいにせまらせる。</li> <li>■ 小グループで発表内容を話し合わせ、自分たちが選んだ地域の特色がより良く伝わるものに仕上げさせる。</li> </ul>
<b>実行、振り返り（２）</b>		
<p>ALT の質問に答える。</p> <p>単元の学びを振り返る。</p>	<p>○それぞれの地域の工夫がよく分かったよ。 ○ALT から感想がもらえてうれしかったな。</p> <p>○実行できたことへの達成感をもつ。</p> <p>○3つの視点を使って、他の地域の特色を調べてみたいな。</p> <p>自分の学びをメタ認知する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ALT より感想を伝えてもらうように事前に連携しておく。</li> <li>■ 単元を通して学んだことや、本単元で育成を目指す資質・能力（「論理的思考力」、「主体性」）の視点から振り返り、振り返りカードに書かせる。</li> </ul>

### 【児童生徒の変容】

今まで広島県のことしか知らなかった児童が、日本各地の特色ある地域について「自然の様子」、「農業や観光業」、「くらしの工夫」について各種の基礎的資料を活用しながら学習することで、振り返りでは「新聞ののっている天気予報欄を見て天気の変化と地形の関係を考えるようになった。」、「他の地域の特色などを見付けようと思うようになった。」といった記述をするようになった。そのことから、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活の様子を理解し、他地域への関心も高まったと捉えている。また自主学習で予習したり復習したりして自ら進んで学ぶようになった姿から、育てようとする資質・能力の「主体性」が高まったと捉えている。資料を活用して思考する場面では、資料のどの部分から考えたのか根拠を明確に、資料から分かることと自分の考えを区別して発言する姿から、論理的に考える力が身に付いてきていると捉えている。